

## インフルエンザ(2026 年第 1 週)疫学情報

### 《コメント》

2026 年第 1 週の定点当たり報告数は 10.35(患者報告数 33,217)となり、前週の定点当たり報告数 22.77 よりも減少した。都道府県別では宮崎県(38.71)、鹿児島県(23.19)、沖縄県(23.18)、福岡県(20.29)、岐阜県(19.70)、島根県(18.05)、長崎県(17.73)、茨城県(17.64)、大分県(17.21)、愛媛県(17.04)、高知県(17.00)、香川県(15.70)の順となった。全国 47 都道府県中、3 都道府県では前週の報告数よりも増加し、44 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 1,009 例であり、前週(1,401 例)から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(40 例)、1～4 歳(105 例)、5～9 歳(56 例)、10 代(47 例)、20 代(31 例)、30 代(20 例)、40 代(19 例)、50 代(36 例)、60 代(92 例)、70 代(182 例)、80 歳以上(381 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 49 週～2026 年第 1 週)では、AH3 亜型が 384 件(95%)、AH1pdm09 が 3 件(1%)、B 型が 19 件(5%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。